

各 位

本店所在地 東京都千代田区神田佐久間町 1 丁目 9 番地
会 社 名 株式会社 テラネット
代 表 者 代表取締役社長 岡田 圭治
コード番号 2140 札幌証券取引所 アンビシャス
問 合 せ 先 管理部長 岡久 勉
電 話 番 号 011-876-9544
U R L <http://www.terranetz.com>

継続企業の前提に関する注記のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 20 年 12 月期の第 3 四半期財務・業績の概況における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期 第 3 四半期連結財務諸表

当グループは、連結子会社である株式会社チャリロトの運営する公営競技サービス事業が開業初年度（平成 20 年 4 月より事業開始）のため、当第 3 四半期連結会計期間において 381,969 千円の大幅な営業損失を計上し、また、営業活動によるキャッシュ・フローも 423,776 千円の大幅なマイナスになっています。また、当第 3 四半期連結会計期間末現在における現金及び預金は 198,868 千円であるのに対して、短期借入金等の流動負債は 732,451 千円に達し、手元流動性に対して高水準の債務を有しています。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しています。

当該状況は開業後 5 年間の中期経営計画における想定範囲内であり、開業当初は平塚競輪のみでありましたが、平成 20 年 10 月には伊東温泉競輪が新たに加わりました。平成 20 年 11 月 18 日には小倉競輪での事業がスタートする予定であり、また通常車券のオンライン販売を計画するなど、徐々にではありますが営業損益及びキャッシュ・フローは改善する見込であります。また、株式会社チャリロトは、当グループ以外の第三者割当増資の計画を策定し、割当候補関係機関と年度内の増資実行に向けて協議中であります。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映していません。

2. 平成 20 年 12 月期 第 3 四半期財務諸表

当社は、当第 3 四半期会計期間末において、流動資産の部に、関係会社に対する短期貸付金を 254,555 千円、固定資産の部に、関係会社株式 37,500 千円及び関係会社長期貸付金 543,778 千円を計上していますが、投融資先である子会社の株式会社チャリロトは、運営する公営競技サービス事業が開業初年度（平成 20 年 4 月より事業開始）のため、当第 3 四半期会計期間末現在 414,734 千円の債務超過になっており、当該子会社の資金繰りの状況によってはこれらの投融資関連資産に多大な影響を及ぼす可能性があります。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しています。

当該状況は、子会社の開業後 5 年間の中期計画における想定範囲内であり、開業当初は平塚競輪のみでありましたが、平成 20 年 10 月には伊東温泉競輪が新たに加わりました。平成 20 年 11 月 18 日には小倉競輪での事業がスタートする予定であり、また通常車券のオンライン販売を計画するなど、徐々にではありますが子会社の営業損益及びキャッシュ・フローは改善する見込であります。また、子会社は、当社以外の第三者割当増資の計画を策定し、割当候補関係機関と年度内の増資実行に向けて協議中であります。

四半期財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期財務諸表には反映していません。

以 上